

むくのきだより 5月号



令和6年4月30日

港区立赤羽幼稚園 園長 中村 美奈子



園歌に込められた思い ～子供たちの健やかな成長を願って～

園長 中村 美奈子

赤羽幼稚園のビオトープにカエルがやってきて、たくさんの卵を産んでいきました。今では、オタマジャクシになって元気に泳いでいます。5月を迎えるにあたり、子供たちの健やかな成長を願い、かぶとを幼稚園の入り口正面に、鯉のぼりを園庭に、教職員で飾りました。年少さくら組の部屋には、子供たちが先生や友達と楽しそうに話しながら自分の好きな色を使って作ったかわいい鯉のぼりが飾られています。年長ゆり組の子供たちが、みんなで相談しながら作った大きな鯉のぼりは、園庭に飾る予定です。

入学式や始業式など、様々な行事で歌われる園歌。先日の離任式では、ゆり組の子供たちが高田清香 前副園長先生に「大好き！」という思いを込めて歌っていました。

むくのき たかいき おおきなき どんどのびろ どこまでも
みんなで わになって うたったら こえも おそらを はしってく
あかばねのこは げんきなこ



むくのき つよいき やさしいき ぐんぐんのびろ いつまでも
みんなで わになって おどったら はっぱも いっしょに わらってる
あかばねのこは あかるいこ



「むくのき」は、旧赤羽幼稚園・小学校の敷地にある樹齢250年以上の大木です。保存樹林としてグラウンドや赤羽幼稚園新園舎の建設後もそのまま残す予定で工事が進められています。今、若木である子供たちが、やがて大木となるためにぐんぐん成長してほしいとの願いが園歌に込められています。

幼児期は、体も心も成長が大きい時期です。子供は、周囲の大人から愛情をもって見守られている安心感に支えられ、興味や行動範囲を広げていきます。そして、いろいろな人・もの・場所と出会い、心を動かされ、話したり遊んだりいろいろな経験を積み、成長していきます。本園では、子供の気持ちに寄り添いながら言葉を掛けたり、手でタッチして一緒に喜び合ったり、子供たちが安心して生活できるように愛情を注いでいきます。そして、子供の心を動かす活動と出合わせ、育てていきます。ご家庭でも、時にはぎゅっと体を抱きしめたり、近くで目と目を合わせてお話したりしてください。そして、安心感をもたせて新しい世界～幼稚園へ送り出していただければと思います。

